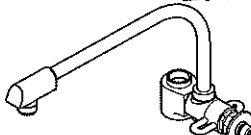


ヤンマー産業(株)

# YANMAR製のシングルレバー式(デッキタイプ)に



食器洗い乾燥機専用

給水・給湯兼用

# シングル分岐 CB-SYB6 の取り付け方



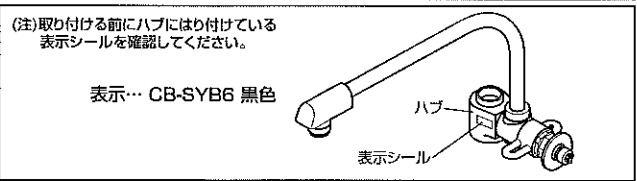
●凍結の恐れのある所への設置はお避けください。  
水洩れの恐れがあります。  
●給水圧力0.6MPa (6kgf/cm<sup>2</sup>) 以上ある場合は市販減圧弁にて0.2MPa (2kgf/cm<sup>2</sup>) 程度に減圧してください。

**代表機種**  
YK112・YK6000・YK6000D・YK6000N・YK120・YK130・  
YK6300AD(BD)・YK6310A(B)・YK7300・AD-YK112・AD-YK3941A・  
AD-YK120・AD-YK130・AD-YK6300B・AD-YK7300・M7552・  
M7552A・M7552B・M7551D・M7300A・M7531A・M7250・M7251・M7200

— 分岐水栓に関するお問い合わせは —  
サポートセンター 電話 大阪 06 (6974) 7033  
E-Mail support@naniwa-ss.co.jp  
●水栓メーカーへのお問い合わせはご遠慮ください。  
お問い合わせは上記サポートセンターまでご連絡ください。

製造元  
**株式会社ナニワ製作所**  
〒537-0002  
大阪府東成区深江南2丁目5番4号  
電話 大阪 06 (6974) 7100

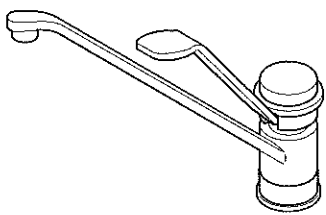
**!** 給水の場合は手順通りに取り付けを行ってください。  
給湯の場合は裏面の変換方法を良くお読みの上、手などにケガ等をする恐れがありますので、十分注意して取り付け、  
部品の組み替え作業を行ってください。



●記載しているイラスト(水栓)は、代表機種であり他の機種とは多少、  
外観と分解が異なる場合がありますので十分注意して取り付けを行ってください。

## 1. まず、水道メーターの止水栓またはバルブを閉じる。

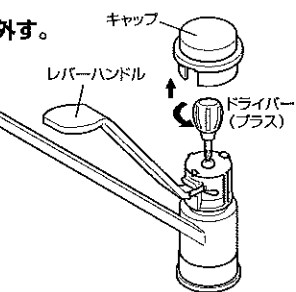
**!** 水栓から水が出ない事を確認してから下記の要領にしたがって、作業を行ってください。



## 2. キャップとレバーハンドルを取り外す。

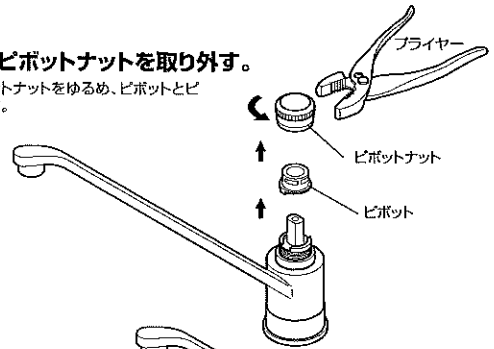
キャップの外周を手で持ち上に抜くようにして外し、  
上からドライバー(プラス)でビスをゆるめ、上に持ち上げるようにしてレバーハンドルを外す。

(お知らせ:ビスはゆるめる程度で、抜いてしまわない方が組立て時に楽に組み立てが行えます。)



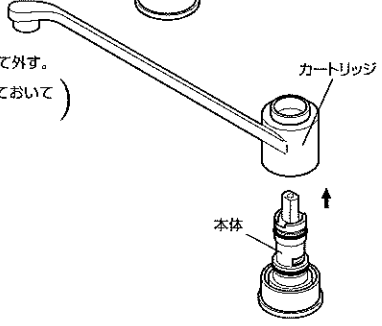
## 3. ピボットとピボットナットを取り外す。

プライヤー等でピボットナットをゆるめ、ピボットとピボットナットを取り外す。



## 4. 吐水口を取り外す。

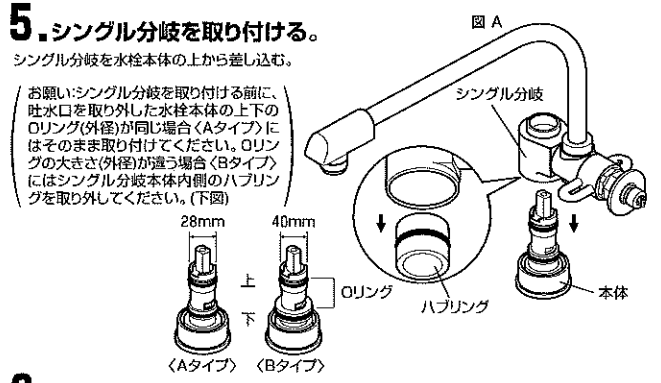
吐水口の外周を手で持ち上に抜くようにして外す。  
(お願い:吐水口は使用しない為、保管しておいてください。)



## 5. シングル分岐を取り付ける。

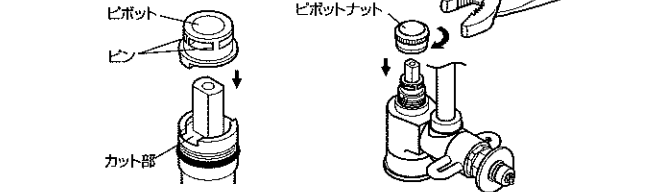
シングル分岐を水栓本体の上から差し込む。

(お願い:シングル分岐を取り付ける前に、吐水口を取り外した水栓本体の上下のOリング(外径)が同じ場合(Aタイプ)にはそのまま取り付けてください。Oリングの大きさ(外径)が違う場合(Bタイプ)にはシングル分岐本体内側のハブリングを取り外してください。(下図))



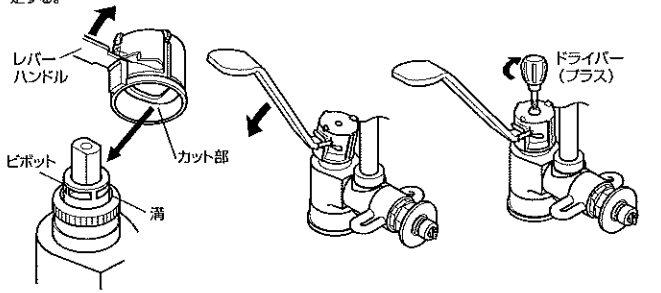
## 6. ピボットとピボットナットを取り付ける。

水栓本体のカット部にピボットのピンを手前してのせ、  
上からピボットナットをネジ込みプライヤー等でしめつける。



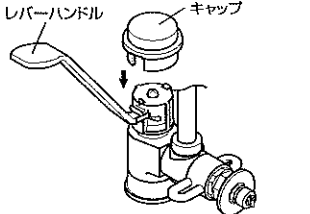
## 7. レバーハンドルを取り付ける。

レバーを上押し上げたままピボットの溝とレバーのカット部が合うように斜めからはめ込む。確実にはめ込まれているか確認の上ドライバー(プラス)でビスを固定する。



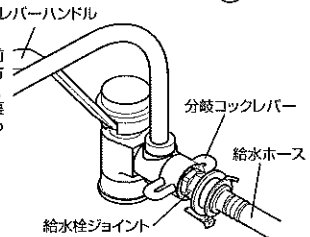
## 8. キャップを取り付ける。

レバーハンドルの上にキャップをのせ押さえる。



## 9. 分岐接続を行う。

シングル分岐に給水ホースを接続する。(接続する前に分岐コックレバーを食器洗い乾燥機側もしくは両方への通水側で水栓のレバーハンドルを開放した場合、給水ホースが差し込めなくなる場合がありますので裏面の給水ホース接続方法の手順通りに取り付けを行ってください。)



**!** 分岐コックの開閉操作(ひらく・とじる)をして締め付けた部分がゆるまないか確認してください。

**!** 取り付け作業終了後、水栓本体及び分岐各部からの水洩れがないか、特に注意して確認してください。

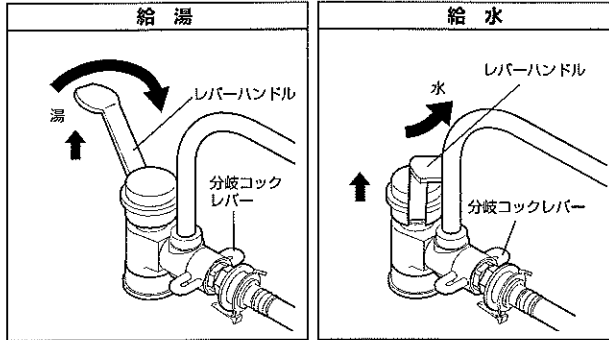
## 水栓レバー（給水・給湯）と分岐コックの操作方法

### お客様のわかる所へおいてください

※この機種は水栓レバーハンドル操作により、湯・水がご使用できます。  
※食洗機の耐熱温度以上に設定された給湯機をご使用の場合は、必ず給水側でご使用ください。

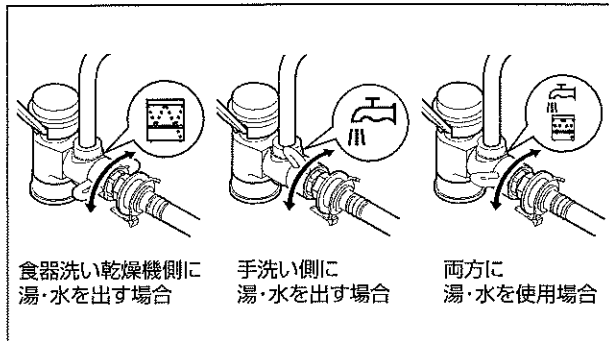
#### 手順1:

お水をご使用される方は、水栓のレバーハンドルを水側に、お湯をご使用される方は、水栓のレバーハンドルを湯側にあわせてレバーハンドルを上げ開栓してください。



#### 手順2:

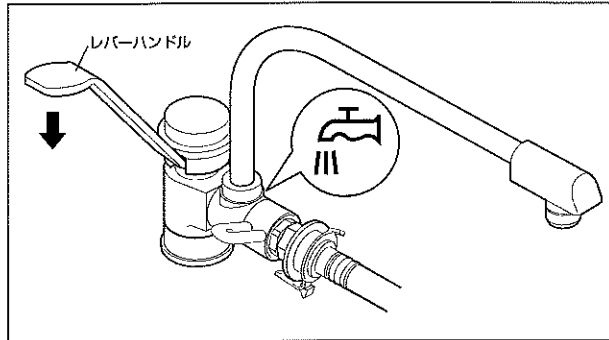
分岐コックのレバーの絵表示に合わせてください。



食器洗い乾燥機を運転するときはかならずレバーハンドルと分岐コックレバーを操作して、通水してください。  
(通水しないと食器洗い乾燥機が異常報知します)

#### 手順3-1:

ご使用後ハンドルレバーを下に下げて閉栓してください。



#### 手順3-2:

分岐コックレバーを絵表示に合わせてください。

## 施工に関する安全上のご注意

- 施工する前に、この「施工に関する安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
- ここに示した【注意】は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動するかを確認の上、使用方法をお客様に説明してください。
- この説明書は、お客様へ保管していただくように依頼してください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない 禁止の表示です
	行為を強制する 表示です
	分解してはいけない 表示です

△注意	
	●凍結の恐れのある所への設置はお避けください。 ※水洩れの恐れがあります。
	●止水栓またはバルブの開放は必ず分岐コックに給水ホースを接続した後、行ってください。
	●分岐水栓を取り付ける場合、必ず専用の工具等を使って取り付けてください。 ※専用の工具以外で、取り付けされると傷をつける場合があります。
	●分岐水栓および同梱されている分岐コックは絶対に分解しないでください。 ※故障・破損の恐れがあります。
	●施工前後に止水栓またはバルブの開放状態のまま分岐水栓・水栓金具等の分解・取り外すような行為は行わないでください。 ※傷害・物損・故障・水洩れ等の恐れがあります。
	●分岐水栓の改造・仕様変更は行わないでください。 ※分岐水栓・食器洗い機等の故障につながる恐れがあります。
	●水栓金具のカートリッジは落としたり、分解しないでください。 ※水洩れ・取り付けができなくなる恐れがあります。

## 給水ホース接続方法

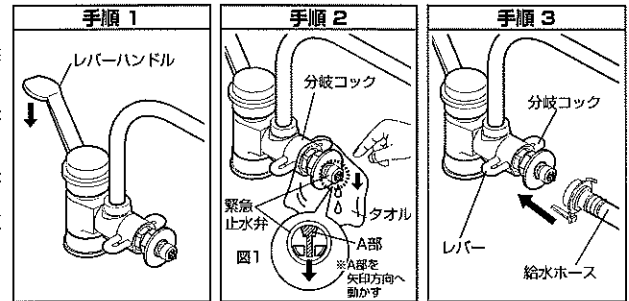
(使用中、給水ホースがはずれた場合の再接続手順です。)

※使用中に給水ホースがはずれた場合、緊急止水弁で水洩れを防ぎます。この時に緊急止水弁に水圧がかかり動かない場合があります。下記の手順にて水圧を抜いてください。

手順1: 水栓のレバーハンドルをとじる操作を行ってください。

手順2: タオルで給水栓ジョイント部を包み緊急止水弁のA部を図1のように動かしてください。  
※この時、水栓内部に残っている水が少量出ます。衣服・家財などが濡れる場合があります。ご注意ください。  
※給湯接続の場合、熱湯がでる恐れがあります。ご注意ください。

手順3: 給水ホースを給水栓ジョイント部に取り付けした後、水栓のレバーハンドルを開く操作を行ってください。



## お客様へのお願い

	食器洗い乾燥機を使用中にハンドルレバーを触らないようにしてください。誤ってお湯側にした状態でご使用されますと手洗い側に熱いお湯が出ますのでご注意ください。		蛇口が変形しますので、蛇口の先端に無理な力を加えたり器具等を取り付けたりしないでください。
	浄水器・整水器等をご使用になる場合は、必ず給水接続でご使用ください。 ※機器が故障する場合があります。		食洗機の耐熱温度以上に設定された給湯機をご使用の場合は、必ず給水接続でご使用ください。 ※食器洗い乾燥機の故障の原因となります。